

## 日本維新の会 令和4年(2022年) 活動方針

昨年の活動方針では冒頭に「来る衆議院議員総選挙、都議会議員選挙、各級選挙に勝利する」と示された。都議選では1議席の獲得にとどまったものの、総選挙では貴重な41議席を頂戴した。その後、活動報告でもお示した通り、再任された松井一郎代表の下、新役員として馬場伸幸共同代表、藤田文武幹事長、柳ヶ瀬裕文総務会長、音喜多駿政調会長が誕生した。

大阪にて誕生した「維新の会」は10年を超え、国政政党としても10年目を迎えた。松井一郎代表が党の舵取りを担う新三役として政治経験の少ない若いメンバーを抜擢した人事は永田町の常識では異例とも言えるが、その意図は、民間企業に例えるならば「ベンチャー企業、地域限定企業」から「上場準備企業、全国展開企業」への戦略的飛躍であり、それはすなわち、我が党が「政権獲得への意思を明確に持った野党第一党」となることで、民間感覚からかけ離れた古い政治や悪しき慣習を壊し、新しい政治を創り上げるための大胆なチャレンジである。

我々は結党以来、我が党の政策を実現するため、国民の目線に立ち、国民に寄り添う政策を立案し、それらの政策をわかりやすく丁寧な説明を尽くすことが政治の要諦と考え、国民との対話を重点とした活動に心血を注いで来たが、未だ国民から消去法的な消極的選択で選ばれた与党の長期政権が続いている。

将来にわたり我が国が繁栄し、国民が豊かな暮らしを享受していくためには、地方創生や抜本的な統治機構改革と徹底した行財政改革が必要なことは間違いなく、我が党は、新しい政党、新しい政治のあり方を広く国民へ訴求し、本大会のスローガンである「日本の未来を維新が創る！～地方に活力。成長する日本～」に沿った活動に邁進すべく、以下に短期、中期の目標を定め本年の活動方針とする。

### **短期目標①：第26回参議院議員通常選挙に勝利する**

本年は7月に参議院議員通常選挙が執行される。現在、所属参議院議員は非改選が9名、改選が6名であるが、予算関連法案提出に必要な議員数である21名を確保するため、本年の選挙で最低でも12名以上の当選を最低目標とする。

選対本部では、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県の5都府県選挙区を最重点選挙区と定め、改選定数が複数の選挙区すなわち北海道、茨城県、千葉県、埼玉県、静岡県、愛知県、広島県、福岡県の8道県を重点選挙区に、その他の県についても適任者がいれば積極的に擁立を行い、全力を傾注していく。比例区選挙においては個々の活動量を上げてもらい、それぞれの人間関係や地縁を駆使し、全員が当選するよう挙党一致で取り組んでいく。

昨年の衆議院議員総選挙で示した「維新八策2021」は当面の我が党の基本政策であり、次の政権選択選挙までは骨格を変えずに更なるブラッシュアップを図る。音喜多駿政調会長を中心に1月に正式に新体制として発足した党政調会に参院選マニフェストPT(政策部門)を立ち上げ、全国各地の政調会の意見を集約した上で、5月をめどに「維新八策2022」をとりまとめていく。

## **短期目標②：2023 年の統一地方選挙に向け候補者を擁立し地方議員を増やす**

目標に掲げる統一地方選挙は来年に執行されるが、候補者擁立は本年に急ピッチで進めていく必要がある。現在(3月1日)は大阪府下に首長18名、地方議員240名、大阪以外では151名と、計409名の特別党籍を有する首長、地方議員が志とともに活動している。

過去の活動方針や活動報告でも何度も繰り返し示しているように、我が党の根幹は地方議員である。地方議員の増加は結党以来の課題であるものの、大阪以外の地域において徐々に増加はしているが、国政において与党と対峙するためには更なる地方組織の強化が必要である。

統一地方選挙の実施される2023年には、大阪での積極擁立はもちろんのこと、大阪以外では151名から倍増の300名以上を目指し、全国の地方議員数を合計600名以上にしていく事を目標に掲げ、本年は地方組織強化に取り組んでいく。

3月1日現在、全国の都道府県総支部は宮城県、新潟県、鳥取県、香川県、沖縄県にも新しく設立し、30支部存在する。まず、それぞれの総支部において柳ヶ瀬裕文総務会長のもと、総務会組織局を中心に目標設定を明確にし、実行計画を評価していく。具体的には結果とプロセスによって、政党交付金の増減を行い、総支部独自で新事業を計画立案し、資金の投入が必要であるならばプラスアルファの資金投与も検討する。さらに組織局として従来のブロック長制度を発展させた選挙対策班を組成し、人材発掘、選考、組織強化や広報局とも連携した広報力強化など総支部サポート体制を強力に支援していく。

総務会では上記目標を達成するために、大前提として候補者候補の発掘が肝要であり、目標達成のためには1,000名以上の候補者擁立が必要との観点から「人材発掘プロジェクト」を立ち上げた。新たなヴィジュアルを採用したポスターやWEB広告などを展開し、公募ページへの誘引を図り、さらには各地域において開催している維新政治塾に通えない地域で政治家を目指す方に向けて、初の完全オンラインで維新政治塾を4月1日に開講する。我が党の維新政治塾は政治経験ゼロから多種多様な政治家を多数輩出してきた実績を持っており、次の時代の政治家を将来の日本を支える人材を生み出していくため抜本的にリニューアルされた。各級地方議会においては、昨年にも同様の方針が示されていたが、引き続き、統一地方選挙のみならず、我が党の現職特別党員が不在の議会においては一人目の議席獲得を目指すとともに、現職特別党員が在職している議会は現状に最低でもプラスワン以上の議席増加、都道府県議会においては選挙区内の定数も考慮に入れながらも複数候補の擁立へと果敢にチャレンジをしなければならない。大阪を含む近畿圏においては第1会派を目指し、公認首長の誕生へ繋げる事こそが、維新の改革を国民に示す最短距離である。選挙の大小問わず、厳しい選挙戦を勝ち上がるには、時の党勢に左右されない自前の後援組織が必要であり、組織づくりや選挙戦も選挙対策班はサポートしていく。

政調会においても統一地方選挙に備えるため、全国政調会を最大限に機能させ、各ブロックに地方議員から副政調会長を配置し、それぞれの地域課題を的確に反映した政策集作りに取り組む。作り上げられた地域マニフェスト(リージョナルマニフェスト)を掲げ、真に国民に寄り添う政党であることを示しつつ統一地方選挙を戦い抜く。

また、現状の選挙制度・慣習においては、育児が生活の中心となる子育て世代が政界に挑戦す

ることは困難であり、とりわけ女性の政界進出のボトルネックになっていることが指摘されている。そこで、わが党は現役世代・女性の政界進出をサポートするため、党としてベビーシッターや一時保育の費用負担を補助するなどの新たな支援制度を創設し、参議院選挙で試運転を行い統一地方選挙にも適用していく。

### **中期目標：次期衆議院議員総選挙で野党第一党を獲得する**

我々は、全特別党員がより一層「維新スピリッツ」溢れる活動を全国で展開し、日本維新の会が「現政権に代わる選択肢」となるよう全ての選挙に勝利し、政権交代を目指していかなければならない。そのための第一歩として、上記中期目標を掲げた。

まずは、野党第一党として国民の負託に耐えうる政党運営を現時点から始めていく必要があり、党全体のガバナンス改革に取り組む。

党幹事長の直轄組織として、国会議員、地方議員による党改革 PT を設置し、短期、中期、長期それぞれの目標に合わせた戦略を計画立案する。特に、将来にわたる中長期目標として党本部機能の強化が必要と認識している。人員の計画的かつ戦略的な採用を行い、現状の職員数の倍増を図り、選対本部事務局、広報本部事務局の常設を視野に、採用や育成、待遇改善を含めた職員の働き方改革を進め、民間からも積極採用していく。次に組織の可視化を行い、政策や党運営も含め地方の意見が反映される仕組みづくりを始めていく。機能的な党運営を行うための党規約改正と実態に合わせた綱領や基本方針の見直し、ガバナンスコードの策定を実施する。政党の運営資金も含めた透明性と公開性を高めていく事により名実ともに現与党に対抗するもう一つの選択肢足り得る組織の構築を行っていく。

我々は、微修正ではなく社会システム自体を大改革が必要であり、特定の支持母体ではなく広く国民に支持される政策を提案し、既得権益や旧体制の利権構造を打破していかなければならない。未来志向で将来利益を最大化させ、合理性を追求しつつ、地方分権型の統治機構を作らなければ新しい時代を切り拓くことができないと考えている。

果敢なチャレンジを後押しして経済成長と格差解消し、次世代に誇れる日本を引き継ぐため、現状維持・微修正でごまかそうとする老朽化した巨大与党のプラン A に対し、我が党は新しい合理的な社会システムの構築を目指すプラン B として、引き続き「日本大改革プラン」を柱として本質的な論戦に挑み、政権獲得を目指して活動を加速させる。

古い政治を壊し、新しい政治を創る

# 日本維新の会 中期経営計画





政策目標



行動目標



## 現状把握

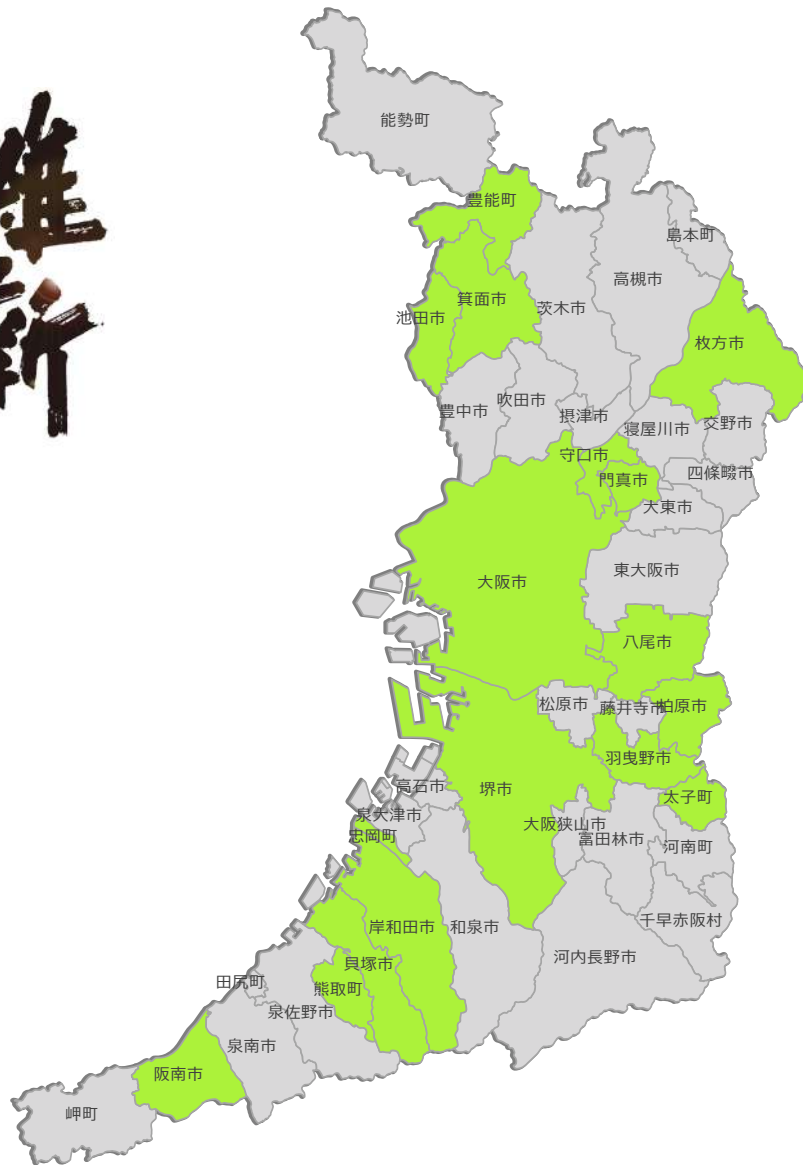
大阪にて誕生した「維新の会」は結党10年を超え、  
国政政党としても10年目を迎えた。  
まずはさまざまな観点から組織の現状を把握し、現状分析を行う。

## 目標設定

現状を正確に把握した上で、今後の国政選挙や  
統一地方選挙をターゲットにして、  
短期・中期・長期に分けて行動目標を設定。

## 実行戦略

設定した目標を達成するための具体的な戦略を立案。



- ・大阪府 知事
- ・大阪市長 ・堺市長 ・枚方市長
- ・守口市長 ・門真市長 ・箕面市長
- ・八尾市長 ・柏原市長 ・池田市長
- ・貝塚市長 ・阪南市長 ・羽曳野市長
- ・岸和田市長
- ・豊能町長 ・太子町長 ・熊取町長
- ・忠岡町長

計：18首長

維新



現国会議員

56名

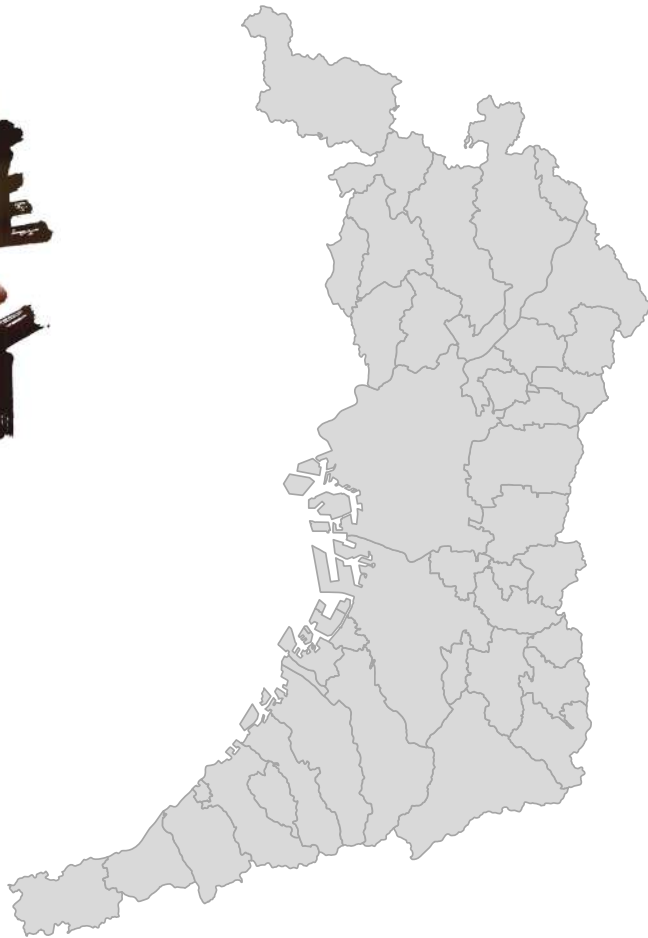
衆議院議員 41 名

参議院議員 15 名

2022年3月26日時点



維新



大阪府下 地方議員

約**250**名

維新



日本全国 地方議員（大阪除く）

約**150**名

# 日本維新の会 中期経営計画

202X年

**【中期目標】 次期衆議院総選挙**

2023年  
4月

**【短期目標②】 統一地方選挙**

2022年  
7月

**【短期目標①】  
参議院選挙**

実行戦略

実行戦略

実行戦略

現状把握

## 短期目標①

**2022年7月 参議院議員選挙**

合計議員数 **21**名以上

※予算関連法案提出に必要な最低議員数

現在の議員数：非改選9名 + **改選6名**

**12名以上の当選必達**

## 短期目標②

2023年 統一地方選挙 後

地方議員数 **600**名以上



大阪以外の地方議員数

現在 約**150**名から **300**名以上へ倍増

## 中期目標

次期衆議院選挙

**野党第一党を獲得！**

# 1

## 戦略実行のための共通コンセプト

民間に例えると

「ベンチャー企業、地域限定企業」から  
「**上場準備企業、全国展開企業**」への戦略的飛躍

## 戦略実行のための共通コンセプト

新しい政党、新しい政治の在り方を  
広く国民へ訴求すること

## 戦略実行のための共通コンセプト

政権獲得への意思を明確に持った野党第一党として  
必要な要素をすべて兼ね備えた組織を構築すること



## 戦略立案チーム「党改革PT」



党 幹事長  
藤田文武



党 政調会長  
音喜多駿



党 総務会長  
柳ヶ瀬裕文



大阪府議会議員  
横山英幸



大阪府議会議員  
杉江ゆうすけ



衆議院議員  
守島正



参議院議員  
高木かおり



衆議院議員  
金村りゅうな



堺市議会議員  
的場慎一

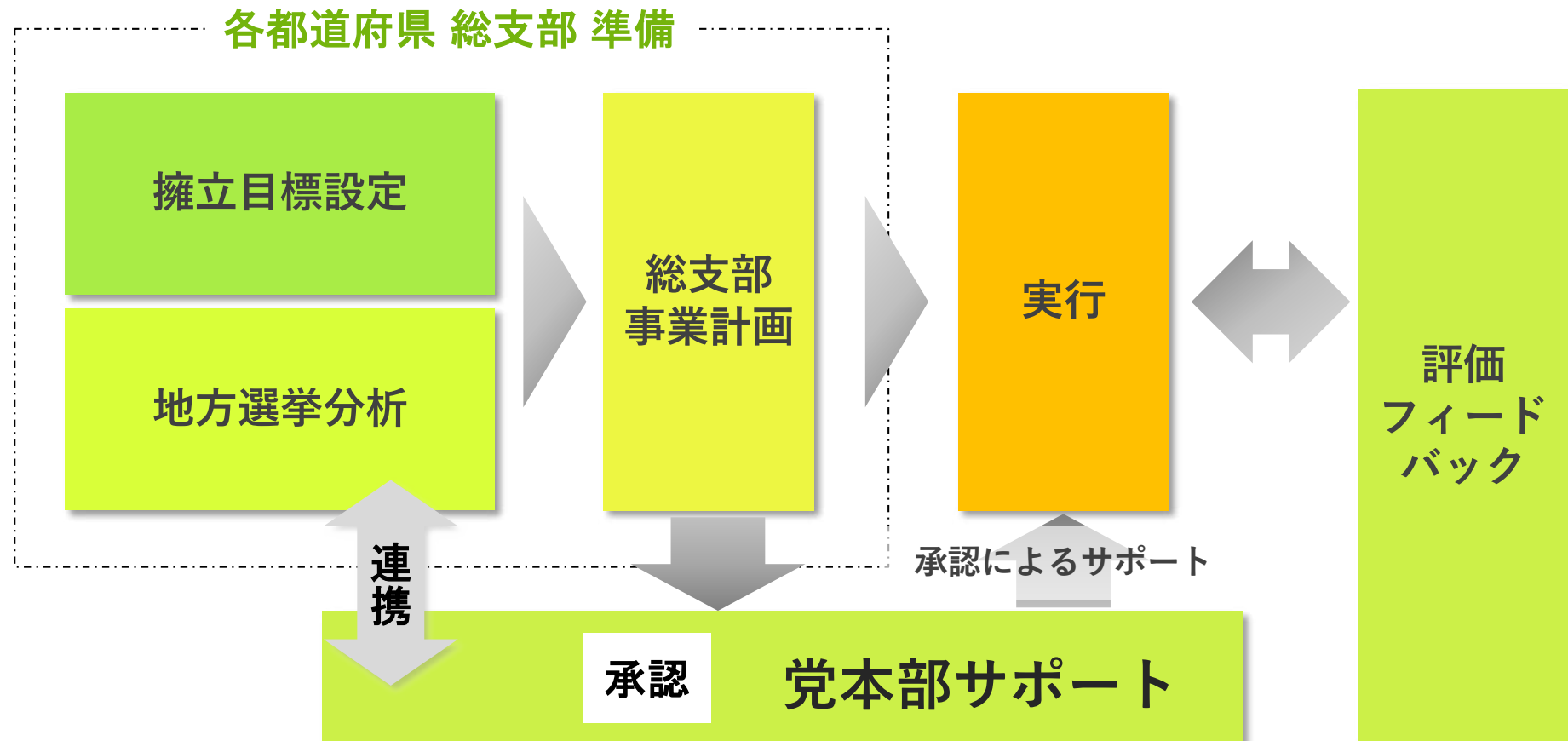


大阪市会議員  
藤田あきら

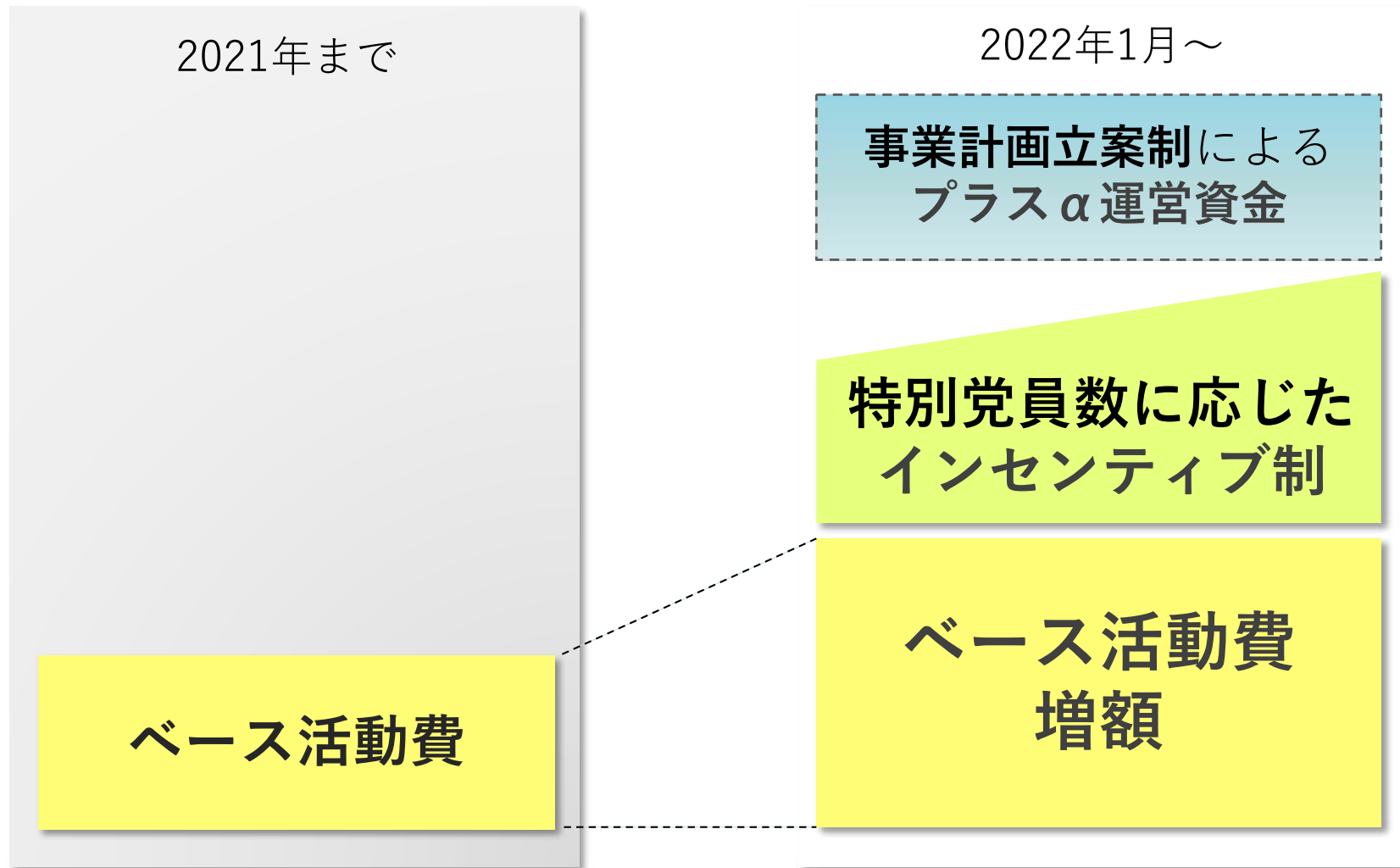
- 1 地方組織の強化
- 2 人財発掘プロジェクト
- 3 全国政調会長会議
- 4 党本部機能の強化

## 1 地方組織の強化

大阪から始まった維新の改革を全国に広げていくためには  
**地方組織の強化は必須課題。** 以下のような取り組みを進めます。



## 1 地方組織の強化：活動資金の戦略的配分



## 1 地方組織の強化

総支部運営計画



選挙分析結果

上記内容に基づいて各地方の支援を行っていきます。



**選挙対策班**  
通称 イージス

人的サポート

応援議員の派遣  
選挙対策チームの投入



広報サポート

WEBサポート  
チラシなどの広報物





メインビジュアル

不屈、求む。

必要なものは  
責任を果たす覚悟と改革への志



日本維新の会

# 不屈、求む。

人財発掘プロジェクト  
2023年 統一地方選挙  
公認候補者 募集中

今、絶える途面に置かれている政治家が多すぎる。  
批判を恐れ、反論を恐れ、選挙を恐れていては  
政治は停滞する。この国は沈没してしまふ。  
子どもたちが誇りを持てる所、成長する日本を創るために、  
覚悟を持って立ち上がり、恐ることなく前に進む。  
これこそが政治家の役割だと思う。  
怖い思いさえあればいい。  
未来のために、共に挑戦してみないか。

日本維新の会  
人財発掘プロジェクト  
公式ホームページ

日本維新の会

# 共に挑もう。

人財発掘プロジェクト  
2023年 統一地方選挙 公認候補者 募集中

日本維新の会  
人財発掘プロジェクト  
公式ホームページ

# 実行戦略

## それぞれのストーリー

### 不屈、求む。

#### 人材発掘プロジェクト

2023年統一地方選挙  
公選候補者募集

子どもたちが誇りを抱く、成長する日本を創るために、覚悟を持って立ち上がり、闘うことなく前に進む。それが維新。共に、挑戦してみないか。意思あるところに、道は開ける。

**立候補したい**  
2023年統一地方選挙・公選候補者募集

**政治塾に入りたい**  
オンラインの政治塾を募集

**話を聞いてみたい**  
候補者や関係者との対話・インタビューを募集

**INTERVIEW**  
それぞれのSTORY  
～政治家になったきっかけ～

各候補者について詳しく知りたい、選挙の内幕を知りたい、立候補のきっかけを知りたい。

[VIEW MORE](#)

### 2022年度 オンライン政治塾

政治塾の魅力を伝えるために、オンラインで実施。これまでに約100名が参加し、多くの候補者を輩出した。2023年度も、同じく多くの候補者を輩出したい。2023年度も、同じく多くの候補者を輩出したい。

**VIEW MORE**

### 統一地方選挙/立候補者 応募はこちら

2023年度の統一地方選挙、公選候補者募集。2023年度の統一地方選挙、公選候補者募集。2023年度の統一地方選挙、公選候補者募集。

**VIEW MORE**

### それぞれのSTORY

政治家になったきっかけ

上野はたる

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

#### STORY 01

政治家になったきっかけはなんですか？

Q1

政治家になったきっかけはなんですか？

Q2

出馬を決めたとき、不安はありませんでしたか？

Q3

選挙に出ることについて、周囲はどんな反応でしたか？

PROFILE

上野はたる

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

### それぞれのSTORY

政治家になったきっかけ

中川セイヤ

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

#### STORY 02

政治家になったきっかけはなんですか？

Q1

政治家になったきっかけはなんですか？

Q2

出馬を決めたとき、不安はありませんでしたか？

Q3

選挙に出ることについて、周囲はどんな反応でしたか？

PROFILE

中川セイヤ

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

### それぞれのSTORY

政治家になったきっかけ

天野こう

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

#### STORY 03

政治家になったきっかけはなんですか？

Q1

政治家になったきっかけはなんですか？

Q2

出馬を決めたとき、不安はありませんでしたか？

Q3

選挙に出ることについて、周囲はどんな反応でしたか？

PROFILE

天野こう

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

### それぞれのSTORY

政治家になったきっかけ

中川セイヤ

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

#### STORY 04

政治家になったきっかけはなんですか？

Q1

政治家になったきっかけはなんですか？

Q2

出馬を決めたとき、不安はありませんでしたか？

Q3

選挙に出ることについて、周囲はどんな反応でしたか？

PROFILE

中川セイヤ

2023年統一地方選挙・公選候補者募集

それぞれの政治に懸ける想いを



### 子育て中の候補者に対する支援について

現状の選挙制度・慣習においては、育児が生活の中心となる子育て世帯が政界に挑戦することは困難であり、とりわけ女性の政界進出のボトルネックになっていることが指摘されている。そこで、日本維新の会は現役世代・女性の政界進出をサポートするため、党としての新たな支援制度を創設する。



#### 対象者

国政選挙または首長選挙に挑戦予定で、子育て中の者

#### 支援内容

政治活動・選挙活動の時間を確保するために利用するベビーシッターや一時保育の利用料など、保育に関わる費用の一部を負担（最長2ヶ月、月額上限20万円）

#### 備考

上記にかかるサポート費用は、政党助成金などの税金を原資とした政治資金ではなく、党費や寄付などの党一般会計から支出する

#### 整理すべき論点

- 保育費用に政治資金を充てることに、世論の理解が得られるか
- 特に保育にかかる費用が一般的に「経費」にならない現状では、反発が予想されるのではないか
- サポートする期間と上限は適切か
- サポート対象は未就学児までとするか、12歳までとするか

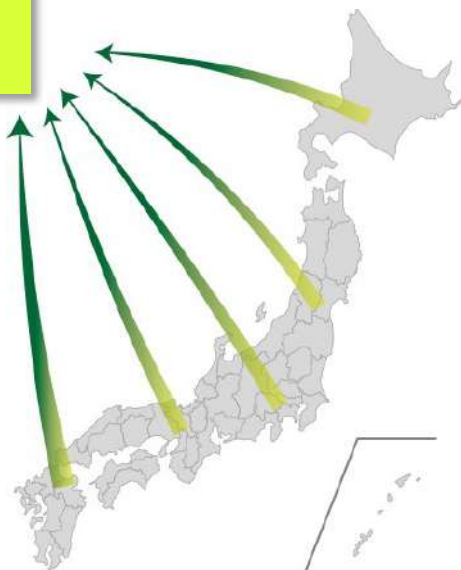
## 3 全国政調会長会議（党政調会）

国と地方の水平的な役割分担のもと、全国から現場実態に沿った政策を吸い上げ

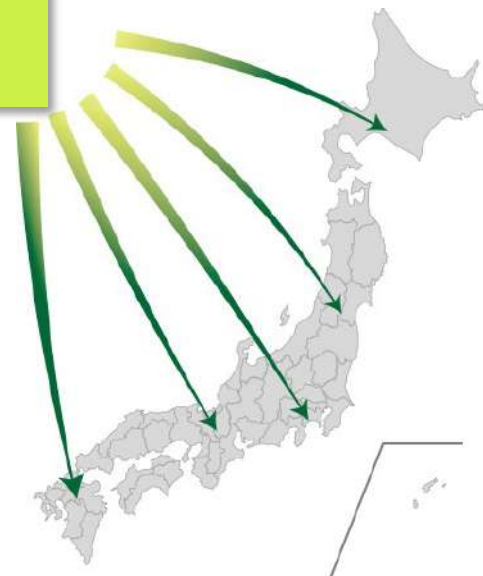
法改正が必要なものは国会で議論

地方で実践可能なものは全国に展開

全国から政策を  
吸い上げ



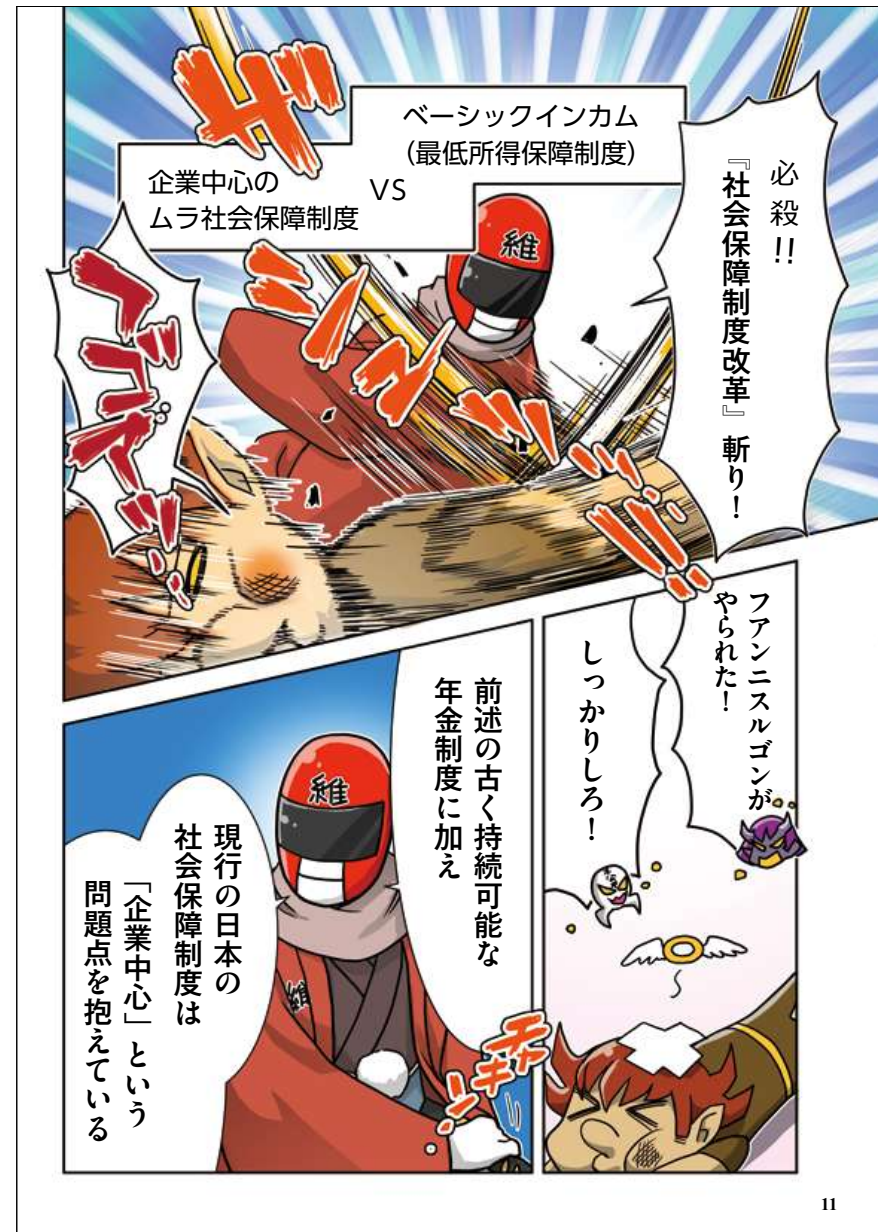
実践事例を  
全国に展開



地方から国の形を変える ための仕組みとして創設



# マンガ 日本大改革プラン ～わかりやすい訴求～



## 4 党本部機能の強化：政治活動をバックアップするサポート体制

### 党本部運営コンセプト

野党第一党として、  
国民の負託に応えられる政党経営を行い、  
名実ともに自公政権に対抗する、  
もう一つの選択肢たり得る組織を構築すること。

## 4 党本部機能の強化

### 党本部職員の体制強化

- 1 計画的かつ戦略的な採用計画、民間企業からの積極採用
- 2 組織拡大を支える重要部門（選対本部 / 広報本部等）の常設化
- 3 党職員の働き方改革を実現し“選ばれる組織”へ

目標達成のための機動的な本部組織へ

現在の延長線上に、解決策は無い。

今こそ、  
「日本大改革」を。